臺灣日日新報　昭和十五年十二月十八日（水曜日）　第一万四千六百四十五號　（一）

臺灣新民報　夕刊　昭和十五年十二月十八日（水曜日）　（第二種郵便物認可）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

下情上通の眞面目
中央協力會議第二日

【東京十七日發同盟】第二日目の會議は午前十時半より開會、國民精神總動員實施要綱に關する件、國民生活の安定に關する件、國民勤勞の新編成に關する件、國民の科學的動員に關する件、國民の保健增進に關する件、國民の思想指導に關する件、國民の文化的昂揚に關する件、國民の海外發展に關する件、國民の東亞共榮圏建設に關する件、以上十件に關する質疑應答を行ひ、午後一時半より分科會に移り、第一分科會（國民精神總動員實施要綱に關する件）、第二分科會（國民勤勞の新編成に關する件）、第三分科會（國民の保健增進に關する件）、第四分科會（國民の文化的昂揚に關する件）、第五分科會（國民の海外發展に關する件）、第六分科會（國民の東亞共榮圏建設に關する件）に分れ、各分科會毎に左の如く出席者を定めて、各分科會毎に夫々審議を行ひ、午後四時半散會した。

（第一分科會）（出席者四十二名）
（會長）近衛文麿
（委員）（官吏）有馬忠綱、安藤紀三郎、小泉親彦、小林躋造、末次信正、鈴木貞一、高橋是清、田邊治通、永野重雄、中島知久平、藤原銀次郎、松岡洋右、松村秀逸、（學識經驗者）安倍能成、大内兵衛、小泉信三、高田保馬、田中耕太郎、（政黨）赤松常子、安部磯雄、（大政翼贊會）有馬賴寧、後藤隆之助、（大日本産業報國會）赤城宗徳、（大日本青少年團）加藤泰安、（大日本婦人會）奥村喜和男、（大日本興亞同盟）笠木良明、（大政翼贊會）三輪壽壯、（大政翼贊會）三木武夫、（大政翼贊會）中小路百合若、（大政翼贊會）中野正剛、（大政翼贊會）永井柳太郎、（大政翼贊會）中野正剛、（大政翼贊會）永井柳太郎、（大政翼贊會）三輪壽壯、（大政翼贊會）三木武夫、（大政翼贊會）中小路百合若

赤誠籠めて奉祝行事

皇太子殿下御誕生日に

…祭る二十三日は　皇太子殿下御八…
…祭の御誕生日である、今年は特に…
…祝賀する紀元二千六百年たる記…
…その佳き日の皇子の殿下に…
…二日間を各自の家庭で…
…新しく奉り、併せてこの佳き日の…
…書かも國民に與へられた…

…時作戦の一切に專することとなり…
…祭の儀をとりやめ、全國…
…年前九時半宮城前廣場に…
…旺盛なる敬神の念を…
…前九時半宮城前廣場に…
…祭を行ふ、…

…、それは紀元節を出發點とする…
…の小祭をとりやめにしたから…全國…
…祭くべきもの二千六百年奉祝全國…
…高唱しながら祭り進むと共に…
…つてゐる、紀元節を中心として…
…は天の理である

南方文化の殿堂に

日本社會學會大會開く

兩會場に分れて研究を發表

南方文化の研究者を北海大に總動員せられた紀元二千六百年奉祝の第十五回日本社會學會大會は二十五日午前九時から北海大學内に於て開催、次の如く内地各大學、研究所から多數の學者が參加、研究題目を發表した

文化と接触　京城帝大　教授　崔　奭五
日本社會學の性格　九州帝大　教授　内藤　莞爾
社會統制の基礎　東北帝大　講師　清水　幾太郎
生活單位としての家族　東京帝大　戸田　貞三
人口、民族、國民　東北帝大　教授　正道
文化一般論の家族、民族、國民の部では　昔儀津郎氏に於ける「山村の社會構成」　東北帝大　講師　清水　幾太郎
日本社會學會の二部會に於て　東京帝大　教授　戸田　貞三
人口、民族、國民　東北帝大　講師　正道
社會的立場と人格形成　慶應義塾大　講師　高橋　勇
文化一般論の家族、民族、國民の部では　昔儀津郎氏に於ける「山村の社會構成」　東北帝大　講師　清水　幾太郎
日本社會學會の公開講演會　日本社會學會主催の公開講演會は先づ…

…南方文化の研究者を北海大に總動員せられた紀元二千六百年奉祝の第十五回日本社會學會大會は二十五日午前九時から北海大學内に於て開催、次の如く内地各大學、研究所から多數の學者が參加、研究題目を發表した

…られた點の如き發展を遂げ…
…長久保博士、教授、…
…教授、…
…國民問題に關する論文を…
…民が一つに纏まつて新年祝賀の…
…の如く、民衆が一つに纏まつて盛…
…行はるのだから國民にとつて…
…國民の大會である

廻禮廢止に代へて

盛大な新年交禮會

新莊公園に厳重に擴張

…は國民の歡呼である、これがために…
…には從來の宮城前廣場に於ける…
…してゐる新年祝賀會を市民が一人…
…でもより多く參加出來る樣に擴張…
…新公園に於いて行ふことゝなり目下府、…
…年の新年交禮會を見ると參加者が…
…參加者として新公園に殺到すれば…
…廣場は五萬人を收容するに過ぎず…
…來る…

…防犯週間特別放送
…臨時國防婦人團第八回特別放送は十五日午後九時四十一分より…
…防犯週間の實施に際して…
…警察協會臺北支部…

天皇陛下萬歲奉唱

感激の餘り倒る

日本海員の感激篇

…最後になる本運轉士の發聲で…
…天皇陛下萬歲を力强く奉唱した…
…したところ佐々木氏は感激と緊…
…張の餘り國旗を抱いて其の場に卒…
…倒、船醫の診斷を受けて…
…不省に陷つて居たが四時過ぎ…

統制違反防止の

第一次協力運動

物價等を標的として一團となる第一次協力運動は愈々十二月十五日を以て全國的に實施されることゝなつたので本社でも之れに參加することゝなつたが本社としては先づ手始めとして社員の家庭日用品の消費節約を實行することゝなつた

…の家庭日用品實態調査…
…會を開き…
…會長…
…會長…
…會長

家庭

事變下歲末の心得
かうして働け、かうして整へよ

市川喜久子

本年もいよいよ今月で終りとなりました、本年は事變突發の年に、國民の總動員に、出征家族の留守にと、お互に心の休まるひまもなく、新體制にと時局の變化につぐに變化をもつて來ましたことに感謝あらたなるものがあります

また一年間の時局の變遷をふり返つて見ますと、私たちは來年も、今年以上に、緊張多く緩和の來ないそしてどこまでも、我慢のある年であることと思ひます

一月、年末にはお正月を迎へる用意をしなければなりません、しかし今は戰時の最中でありますから、すべて時局によろしい心持へ、すべてにふさはしい心持へ、すべてよりよく大切です、ではどんな心掛けが必要でせうか

一、道具類の手入

そうつぱなしに使つてお正月を迎へるために一般に手の届かない、細かい物の手入れが行はれます、まづ、醫藥の應急手當箱のやうな使ひ慣れた、又今は最も必要なものですから、箱に入れた大きな目に切り、區中に紙を通し、裏張なく綿をつけます、次にその醫藥を破れ目の處に入れて紙を引つぱりながら、破れを下に向けて出來しくなる心配もなく、手早く手際よく修理することができます、かうして貼り終つたところで膠で紙を濡れば修理のあとが目立ちません

一、押棚のお掃除

年末には、できれば煤拂ひと掃除をしよう、もし都合で出來なくとも簡單な拂ひだけは必ず掃しまう、神棚のお掃をしようするときは、相當にならぬやうに綿

新體制と文化・文學
【上】

青柳優

新體制になつて文化文藝の問題は一體どうなるであらうか、といふ疑問の聲が一般文化人文藝人の心中を縫歴か去來したものであるが、既に去る六月の末頃から、文藝の問題に關する座談會が各方面に於て開かれ、又文藝雜誌の編輯者や、文藝家自身の間に於ても、新體制と文藝の問題が盛んに論ぜられ、或は文藝家團體の解消論さへ出るに至つた。

文藝家團體の解消論は、文藝家團體の中に、新體制に對する理解が缺けてゐるといふ點から出たものであるが、これは文藝家團體の解消論さへ出るに至つた。

私には文藝家團體の解消論は、文藝家團體の中に、新體制に對する理解が缺けてゐるといふ點から出たものであるが、これは文藝家團體の解消論さへ出るに至つた。

大體新體制の問題は、文化團體の問題と、文藝家團體の問題とは、自ら別個のものであるが、文藝家團體の解消論さへ出るに至つた。

氏は、從來の文藝家團體の解消論を、文藝家團體の自發的な新體制に對する人々の努力をして文化文藝の自發的な新體制に對する人々の努力をして文化文藝の自發的な新體制に對する人々の努力をして文化文藝

曉の町 53)

武田麟太郎作

林唯一畫

求婚の話（二）

からかはれてゐるのとは知らず、山崎はすつかり憤慨了つてそれを露骨に見せただけではなく一挙の間りさへ憚らず「馬鹿」「馬鹿」と叫んだ。

「——本當かい、それは……相手はどんな女だ」

しのぶに金を持つのは、あまりに信じられない話であつたからだ。彼女も、その眞偽たいき仕ひに聞けずたちどころとして、

「——いいえ、さうなるかも知んないと云ふのよ」

「——……」

「——つまりね、その西川さんが私をお嫁にほしがつてるんですよ今、その話が持ち上つてるのよ」

その話がどこまで進展してゐるのかと、山崎は眼鏡の下の眼をネ安さうに瞬いてゐるだが、

「——それで、相手君は承諾するつもりになつたんだね」

彼女はまだにやにやしながら、頬りで煮えたものを口に運んでゐた。

「——しつこいやうだが、さうなんだね」

山崎はいよいよ頑張して来た。

「——ふゝ、山崎さんはそんなことを訊きたがるのよ……それから眼明しにしいの」

と、彼女は口もり、たちまち眼赤になつて、

「——君は僕がそんなことをたづねる權利が全くないと云ひたいんだね」

「——さうぢやないけどそんなに怒るのこと……」

「——それや、僕に何の權利もないさ、唯、君があんまり下らない間と一しよになるのを、黙つて見てゐられない氣持なんだよ……それがもうお節介なはなしだと云はれれば、一言もない……だが、……本當のところをぶちまけて云へば、僕は君が好きなんだ……」

眼頭ぐにしのぶを凝視して、たうとうそれを云つてやつたのかとそこは動揺を隠し得ない心で、少し顔くなつた。

彼女はそれりそうだつたのかとそこは動揺を隠し得ない心で、少し顔くなつた。

自ら、膝の上に置いた手に、眼は落ちた。

「——一呎、云はうと思ひたから、そさそ話つてゐたのは、僕の氣持がどこまで通まつてゐるか、眼經をあるかに自信がなかつたからだ。……あの西川と云ふ人が眼鏡に此へ現はれそうになつてから、そつと自分の氣持に嘘うそをつくことある。この四日山崎が訪ねて来たことは、山崎が自分の勝りない心配を吐露するのであつた。

しのぶは何も深刻に考えなかつた彼が自己に關する感情を持つてゐることは知つてゐたが、ここまで眼經になるを抱いてゐるとは思へてゐなかつたのだ。

「——だから、……」

と、山崎は眼鏡をはじめた。

「——だから、君が僕を嫌ひならば、……僕の心ひが聞き入れられないとしても、せめて、君が立派な人と結婚してほしいと僕はさうを望まないのだ」

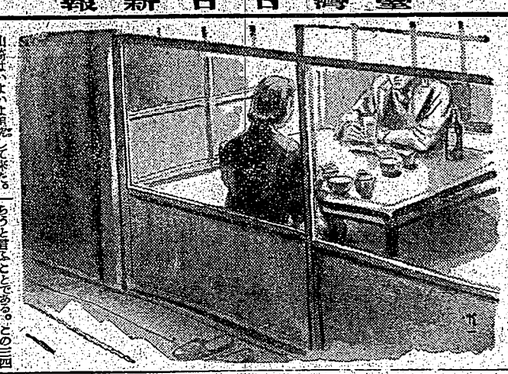
身寒の子供らしい一言葉な言氣さで、山崎が自分の勝りない心配を吐露するのであつた。

しのぶは何も深刻に考えなかつた彼が自己に關する感情を持つてゐることは知つてゐたが、ここまで眼經になるを抱いてゐるとは思へてゐなかつたのだ。

「——だから、……」

と、山崎は眼鏡をはじめた。

「——だから、君が僕を嫌ひならば、……僕の心ひが聞き入れられないとしても、せめて、君が立派な人と結婚してほしいと僕はさうを望まないのだ」



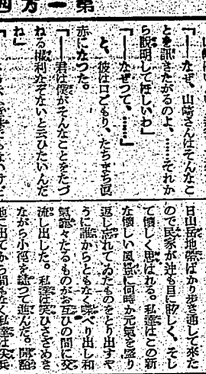
陸屋墟の戰闘 (36)

山下（方一）畫

森から突如銃聲

取りついた豪地に敵彈

雲間を私達部隊が敵陣地に出た稍の敵機を探してからまだ數日もたつてゐない地點である。それがあの山脈の一部にこんな平野があらうとは想像だにされないやうな處なたものである。私達はこの分ならば間もなく敵陣を眞出すことが出來るであらうと心を躍らした果して間もなく私達部隊を發取しした。多分西側部隊であ



（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月十八日　（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百四十五號　（一）

臺灣新報
本日夕刊共八頁
作成所　人行室會議室
編輯所　江口百
地震試驗室　北
支局　五
印刷所　二
發行所　二
社報　代表八〇
電話　二三二番

經濟新體制を續り 眞摯活潑な論議

中央協力會議第二一日（午後）

【東京十七日發同盟】協力會議第二百議會は午前に引續き午後一時五十分から開會、一、國內諸問題（關聯の卿第に關する件

津田信吾氏（公爵）　最近以來政民に四年を經過しこの間年戰ひ抜けられ國際關係が加何に變化しても國民に渡私奉公一億一心の覺悟がある限り日本は後顧だもすべきものではない、官業人も喜んで一死國に報じる決心がついてゐる、臣道實踐は皆更も當然服從すべきものと心得る次第

星野總裁參內

【東京十七日發同盟】星野全體總裁は十七日午後二時參內天皇陛下に謁見仰付られ昭和十五年度四、四半期物動計畫の內容竝に明和十六年度物動計畫の概況に關し奏上申上げた

【東京十七日發同盟】星野全體總裁は七日午後二時參內天皇陛下に謁見仰付られ昭和十五年度四、四半期物動計畫の內容竝に明和十六年度物動計畫の概況に關し奏上申上げた

【東京十七日發同盟】協力會議第二日の會は十七日午前九時二十分から開會、和田會長は

一、經濟新體制の確立に關する件

一、人口資源と國民體力に關する件（委員・幹事・提出）

一、中小商工業者の轉失業に關する件（三輪常次郎・名古屋・提出）

一、地方行政力の強化に關する件（大橋隆太郎・大阪・提出）

一、婦人勞務組織に關する件（大橋長平・名古屋・提出）

一、人口資源と國民體力に關する件（委員・幹事・提出）

一、新體制に即應する教學刷新に關する件（委員會提出）

一、地方行政連絡會議に關する件（委員會提出）

一、地方行政連絡會議に關する件（委員會提出）

一、第二部會（農業運動促進に關する件）

一、第三部會（農業運動促進に關する件）

一、第四部會（經濟運動の促進に關する件）

一、第四部會（經濟運動の促進に關する件

社說

本島婦人への時局的要請

銃後奉公と勞務當の覺悟

一

吾國において最も缺如するものの一つに、本島婦人界の團結力がある。これは多年の習慣であり弊害とも云はずまでしばく反復主張して來たところのものであるが因襲久しきに亙る其の惰風は容易に改善の機運を示さずして今日に至つた。然しながら擡下の非常時局は、今日の國家非常時局に於ては本島婦人と雖も過去の陋習に固執することを許さず、是非とも島國民の一員として擧國一致の銃後女性組織の一翼たらねばならなかつたのだ。もう一つの理由としては、生産擴充の總動員必要性に基いて勞働の問題が重大な條件となつて現はれ、不足勞力を何れの部面から補給するかが當面に横はれた時局、婦女子の動員して此の方面から補給へしようといふ點に期待してゐることに於てである。尤も本島には從來婦女子を動員するの點に於ては從來婦女子を動員するの點に於ては從來婦女子を動員するの點に於ては

各職域の代表から 生活の眞の叫び

中央協力會議の總會

文藝銃後講演の一行

紅一點の高長女史 五千萬婦人の叫び

草稿持つ手も感激に震ふ

在鄉將校の指導

堂々黑潮蹴つて 漁撈の實習

督府水産講習所の十五名

新任總督の披露宴

昨夕官邸に軍官民を招待

長谷川總督、軍官民を招き新任の披露

市吏員の家族手當 三萬九千八百餘圓

臺北市會で原案可決

白衣の勇士を犒ふ

文藝銃後講演の一行

さんとす丸 げさ基隆港へ

公開講演の夕べ

肥後、新明、杉森の三氏

上海佛工部局ト氏 重慶側兇彈に仆る

奬勵金行の大屯組 はまだ申込を受付

島都に强盜

定期航空

和やかな會合

總機會支部員ら

臺北放送局新演奏所の地鎭祭を執行

臨兒島縣人會 聖紀の奉祝會

南方事情講習終る

第一タクシー設立

女事務員採用

株式名義書換

臺灣製紙會社

臺灣商工銀行

臺灣繊維工業

臺南秋競馬

十二月二十日（金）
十二月二十一日（土）
十二月二十二日（日）

脈打つ全村教育・古典に現れた民族性 國策に參劃する女性に訊く

本島新派 和田傳

落下傘部隊の訓練
ルイフタス
阿野金庫
この金庫に限る
絶對安全保管は
臺北 長谷川商行
新東亞
一九一二町竹若市北台
一四七二番 第一商事
臺灣軍報道部で 給仕と小使を募集
防衛團に竹槍の國防服
臺灣軍報道部
島都に强盜
定期航空
和やかな會合
臺北放送局新演奏所の地鎭祭を執行
臨兒島縣人會 聖紀の奉祝會
南方事情講習終る
第一タクシー設立
女事務員採用
株式名義書換
臺灣製紙會社
臺灣商工銀行
臺南秋競馬
十二月二十日（金）
十二月二十一日（土）
十二月二十二日（日）
會葬御禮 筵田利光
臺灣繊維工業
第拾期決算公告
吳萬居有要談
社員募集
タイピスト
女事務員採用
株式名義書換
臺灣製紙會社
臺灣商工銀行
株式名義書換
第一タクシー設立
株券名義書換
白井同風奏準並註釋
定價九十錢 昭和十六年版
英文日記
臺灣軍部隊の訓練
落下傘部隊の訓練
ルイフタス
阿野金庫
この金庫に限る
絶對安全保管は
臺北 長谷川商行
新東亞
一九一二町竹若市北台
一四七二番 第一商事
臺灣軍報道部で 給仕と小使を募集
防衛團に竹槍の國防服
島都に强盜
定期航空
和やかな會合
臺北放送局新演奏所の地鎭祭を執行
臨兒島縣人會 聖紀の奉祝會
南方事情講習終る
第一タクシー設立
女事務員採用
株式名義書換
臺灣製紙會社
臺灣商工銀行
臺南秋競馬
十二月二十日（金）
十二月二十一日（土）
十二月二十二日（日）
會葬御禮 筵田利光
臺灣繊維工業
第拾期決算公告
吳萬居有要談
社員募集
タイピスト
女事務員採用
株式名義書換
臺灣製紙會社
臺灣商工銀行
株式名義書換
第一タクシー設立
株券名義書換
白井同風奏準並註釋
定價九十錢 昭和十六年版
英文日記
臺灣軍部隊の訓練
落下傘部隊の訓練

臺日各地綜合版

皇民化挺身隊
高雄州で錬成所開設

【高雄電話】高雄州では高雄國語學校を始めとして各地でも新年早々州下本島人の皇民化運動に一大飛躍を期し左の如き皇民化挺身隊錬成所を開設することゝなつた

一、錬成期間　一月十日より二月末日迄

二、錬成人員　一回百名宛

三、錬成科目　一、皇國精神の涵養　二、國語の常用　三、國民體力の向上　四、國民生活の刷新

四、錬成方法　一、皇國精神の涵養は主として國語學校内に於て行ひ國語の常用は國語學校内外を通じて實行せしめ體力の向上は國語學校内外に於て實施す

五、錬成所職員　所長　州内務部長　副所長　國語學校長　教官　州内務部員　國語學校教官　州内各郡市官吏　州内各學校教員　州内各青年團幹部

六、錬成生徒　州内各郡市より選抜したる青年男女

七、錬成生徒の待遇　一、錬成生徒は錬成期間中國語學校内に寄宿せしめ食費は一人一日金四十錢宛を支給す　二、錬成生徒は錬成期間中國語學校内に於て國語學校生徒に準じ教育す

八、錬成生徒の義務　一、錬成生徒は錬成期間中國語學校内に於て國語學校生徒に準じ教育す　二、錬成生徒は錬成期間中國語學校内に於て國語學校生徒に準じ教育す

扁額を獻納

【臺南電話】臺南州民教化聯盟會長及び元二十三年度より引續き第二回に亘る開催に關する開催入場券の發賣方法で協議會を開催した

消防組新體制

【嘉義電話】嘉義消防組では嘉義市外十六箇所の消防組を統一して嘉義消防組と改稱し新體制の下に一月一日より發足することゝなつたが右實施に伴ひ從來の消防組長は名譽職とし新に專任の消防組長を置くことゝなつた

七十の婆さん手習
東石郡下に漲る國語熱

【嘉義電話】東石郡下に於ける國語普及運動は各地共に熱心に行はれつゝあるが殊に東石郡下に於ては七十の婆さんが國語學校に入學して國語を學ぶと云ふ珍現象を呈し一般國語熱を煽つてゐる

酒も餅も不自由ない
十六萬市民に平等に

【高雄電話】戰時下に四圍海に迫つた高雄市では新春を國民に迫つた高雄市では新春を國民に迫つた高雄市では新春を國民